

## 地域医療構想の実現に向けた具体的対応方針の再検証要請について

【令和元年9月26日 第24回地域医療構想ワーキンググループ（厚生労働省）資料に基づき作成】

## 具体的対応方針の再検証要請(厚生労働省 地域医療構想ワーキンググループ)

平成29年度病床機能報告で「急性期」を報告する全医療機関について、9領域・19分析項目を分析。以下、A・Bのいずれかに該当する公立・公的医療機関について、再検証要請の対象として、9月26日に公表。(道内では54医療機関)

### <A:診療実績が特に少ない>

○各分析項目について、人口規模ごとに全国の医療機関の診療実績を並べ、各人口規模の下位33.3%に該当するか否かを分析。

○領域①～⑥について、全分析項目で下位33.3%に該当した場合、当該領域は「診療実績が特に少ない」と評価。

○9領域全てで「診療実績が特に少ない」と評価された場合、再検証要請の対象

### <B:類似かつ近接>

○各分析項目について、以下(1)・(2)の分析を実施

○領域①～⑥について、全分析項目で「類似の実績」かつ「近接」に該当した場合、当該領域は「類似かつ近接」と評価。

○6領域全てで「類似かつ近接」と評価された場合、再検証要請の対象。

#### (1)類似の実績

各分析項目について、圏域内で、診療実績シェアが上位50%以内の医療機関を「上位グループ」、それ以外の医療機関を「類似の実績」と分析。また、上位グループでも、上位グループ以外の医療機関における実績最大値の1.5倍以内の医療機関は「類似の実績」と分析。

#### (2)近接

各分析項目について、圏域内で、車で20分以内の場所に診療実績を有する他の医療機関(「診療実績が特に少ない」医療機関を除く)がある場合、「近接」と分析。

領域	分析項目
①がん	肺・呼吸器
	乳腺
	消化器(消化管、肝胆膵)
	泌尿器／生殖器
	放射線療法
②心筋梗塞等の 心血管疾患	急性心筋梗塞に対する心臓カテーテル手術
	外科手術が必要な心疾患
③脳卒中	急性期脳卒中加算
	脳動脈瘤クリッピング術等
	開頭血腫除去術等
	血栓除去術等の脳血管内手術
④救急医療	救急搬送等の医療
	大腿骨骨折等
⑤小児医療	小児入院医療管理料・新生児集中治療室管理料等
⑥周産期医療	分娩件数
	ハイリスク分娩管理加算
⑦災害医療	災害拠点病院の指定
⑧へき地医療	へき地医療拠点病院の指定
⑨研修派遣機能	臨床研修病院の指定

※各分析項目に活用した具体的な数値(診療報酬等)は、現時点で不明

- 地域医療構想調整会議において2年間程度で集中的な検討を進めることとした中で、特に公立・公的医療機関等に対しては、それぞれ「新公立病院改革プラン」「公的医療機関等2025プラン」を策定し、民間医療機関との役割分担を踏まえ、公立・公的医療機関等でなければ担えない分野へ重点化された具体的対応方針であるか確認することを求めた。
- また、前回までの本WGにおいて、「具体的対応方針の検証に向けた議論の整理（たたき台）」について議論を行ってきた。
- その中で、具体的対応方針の検証方法としては、厚生労働省において、診療実績等の一定の指標を設定し各構想区域の医療提供体制の現状について分析を行った上で、一定の基準に合致した場合は、厚生労働省から都道府県に対して、これまでの具体的対応方針に関する合意内容が、真に地域医療構想の実現に沿ったものとなっているか、地域医療構想調整会議において改めて検証するよう要請することとしている。



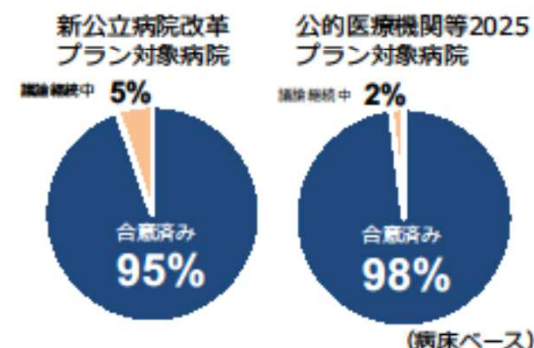
# 地域医療構想の実現に向けたこれまでの取組について

第32回社会保障WG  
(令和元年5月23日)  
資料1-1

## 1. これまでの取り組み

- これまで、2017年度、2018年度の2年間を集中的な検討期間とし、**公立・公的医療機関等においては地域の民間医療機関では担うことのできない医療機能に重点化**するよう医療機能を見直し、これを達成するための再編統合の議論を進めるように要請した。
- 公立・公的医療機関等でなければ担えない機能として、「新公立病院改革ガイドライン」や「経済財政運営と改革の基本方針2018」においてはそれぞれ、
  - ア 高度急性期・急性期機能や不採算部門、過疎地等の医療提供等
  - イ 山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供
  - ウ 救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供
  - エ 県立がんセンター、県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
  - オ 研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能が挙げられている。
- 2018年度末までに**全ての公立・公的医療機関等における具体的対応方針が地域医療構想調整会議で合意されるよう取組を推進。**

公立・公的医療機関等に関する議論の状況  
2019年3月末

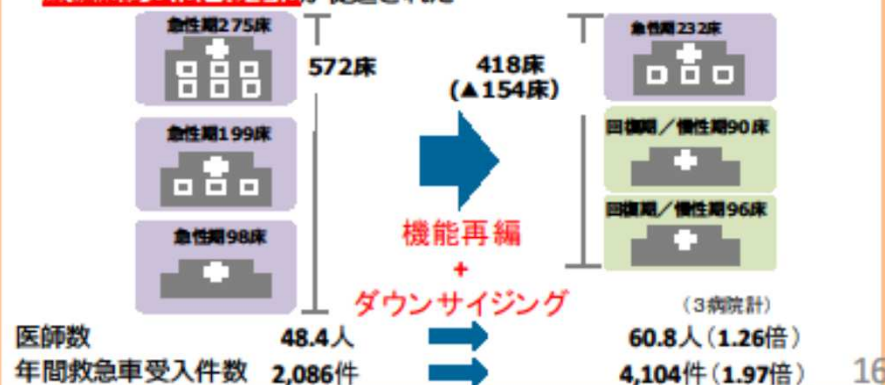


### 地域医療構想の実現のための推進策

- 病床機能報告における定量的基準の導入
  - 2018年10月からの病床機能報告において診療実績に着目した報告がなされるよう定量的基準を明確化し、**実績のない高度急性期・急性期病床を適正化**
- 2018年6月より地域医療構想アドバイザーを任命
  - ・調整会議における議論の支援、ファシリテート
  - ・都道府県が行うデータ分析の支援 等 (36都道府県、79名(平成31年3月))
- 2018年6月より都道府県単位の地域医療構想調整会議の設置
- 介護医療院を創設し、介護療養・医療療養病床からの転換を促進

### 機能分化連携のイメージ(奈良県南和構想区域)

- 医療機能が低下している3つの救急病院を1つの救急病院(急性期)と2つの回復期/慢性期病院に再編し、**ダウンサイジング**
- 機能集約化により医師一人当たりの救急受入件数が増え、**地域全体の医療機能の強化、効率化**が促進された





- 2019年年央までに各医療機関の診療実績データを分析し、公立・公的医療機関等の役割が当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか、合意された具体的対応方針を検証し、地域医療構想の実現に必要な協議を促進。

## 2. 今後の取り組み

- 合意形成された具体的対応方針の検証と構想の実現に向けた更なる対策

- 今後、2019年年央までに、全ての医療機関の診療実績データ分析を完了し、「**診療実績が少ない**」または「**診療実績が類似している**」と位置付けられた**公立・公的医療機関等**に対して、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえつつ、**医師の働き方改革の方向性**も加味して、**当該医療機能の他の医療機関への統合や他の病院との再編統合**について、地域医療構想調整会議で協議し改めて合意を得るように要請する予定。

### 分析内容

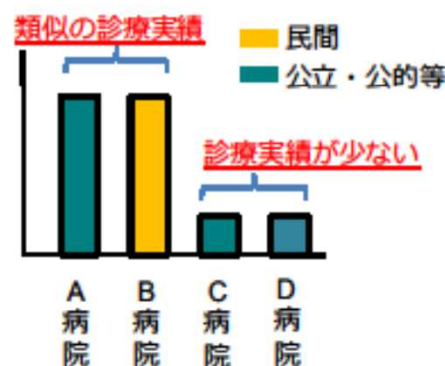
分析項目ごとに診療実績等の一定の指標を設定し、当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか分析する。重点化が不十分な場合、他の医療機関による代替可能性があるとする。

A 各分析項目について、診療実績が特に少ない。

B 各分析項目について、構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接している。

### 分析のイメージ

①診療実績の**データ分析**  
(領域等(例:がん、救急等)ごと)



②地理的条件の**確認**

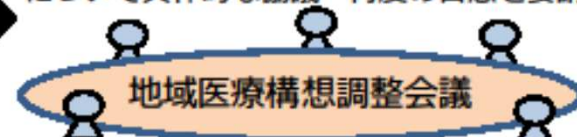
類似の診療実績がある場合のうち、**近接**している場合を確認



①及び②により  
「**代替可能性あり**」  
とされた公立・公的  
医療機関等

③分析結果を踏まえた地域医療  
構想調整会議における**検証**

医療機関の診療実績や  
将来の医療需要の動向等を踏まえ、  
**医師の働き方改革の方向性**も加味して、  
○ **代替可能性のある機能の他の医療機関  
への統合**  
○ **病院の再編統合**  
について具体的な協議・再度の合意を要請



## 札幌構想区域(札幌医療圏)の公立・公的医療機関等―① 病床数等

医療機関施設名	合計 病床数	高度急性期 病床数	急性期 病床数	回復期 病床数	慢性期 病床数	休棟等 病床数	稼働率 (高度急性 期・急性期病 棟)
江別市立病院	278	0	278	0	0	0	70%
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター	410	34	292	42	42	0	83%
独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	520	0	520	0	0	0	58%
独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	312	11	301	0	0	0	79%
北海道立子ども総合医療・療育センター	215	33	72	110	0	0	64%
北海道大学病院	874	714	160	0	0	0	80%
手稲溪仁会病院	670	73	597	0	0	0	79%
独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	276	0	276	0	0	0	67%
市立札幌病院	701	605	96	0	0	0	72%
市立千歳市民病院	190	0	190	0	0	0	81%
KKR札幌医療センター	453	11	420	0	22	0	76%
国家公務員共済組合連合会 斗南病院	243	243	0	0	0	0	63%
札幌医科大学附属病院	890	45	845	0	0	0	77%
JA北海道厚生連札幌厚生病院	519	86	364	44	25	0	87%

## 札幌構想区域(札幌医療圏)の公立・公的医療機関等―② 病院類型

医療機関施設名	基幹型臨床 研修病院	特定機能 病院	地域医療 支援病院	災害 拠点病院	へき地 拠点病院	総合周産期 母子医療 センター	地域周産期 母子医療 センター	公立病院新 改革プラン 策定対象	公的等2025 プラン対象	民間の 地域医療 支援病院
江別市立病院	○							○		
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター	○		○	○					○	
独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター									○	
独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	○		○				○		○	
北海道立子ども総合医療・療育センター								○		
北海道大学病院	○	○		○			○		○	
手稲溪仁会病院	○		○	○			○		○	○
独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	○		○						○	
市立札幌病院	○		○	○		○		○		
市立千歳市民病院	○							○		
KKR札幌医療センター	○		○						○	
国家公務員共済組合連合会 斗南病院	○		○						○	
札幌医科大学附属病院	○	○		○			○		○	
JA北海道厚生連札幌厚生病院	○								○	

## 札幌構想区域(札幌医療圏)の公立・公的医療機関等―③ A 診療実績が特に少ない

医療機関施設名	がん	心血管疾患	脳卒中	救急医療	小児医療	周産期医療	災害医療	へき地医療	研修・派遣機能	該当数
江別市立病院			●		●	●	●	●		5
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター						●		●		2
独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター		●	●	●	●	●	●	●	●	8
独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院		●	●	●			●	●		5
北海道立子ども総合医療・療育センター	●		●	●		●	●	●	●	7
北海道大学病院				●				●		2
手稲溪仁会病院								●		1
独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	●	●	●	●	●	●	●	●		8
市立札幌病院								●		1
市立千歳市民病院	●		●				●	●	●	5
KKR札幌医療センター							●	●		2
国家公務員共済組合連合会 斗南病院	●	●	●	●	●	●	●	●		8
札幌医科大学附属病院				●				●		2
JA北海道厚生連札幌厚生病院		●	●			●	●	●		5



## 札幌構想区域(札幌医療圏)の公立・公的医療機関等―③ B 類似かつ近接

医療機関施設名	がん	心血管疾患	脳卒中	救急医療	小児医療	周産期医療	該当数
江別市立病院	●	●	●	●	●	●	6
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター	●	●	●	●	●	●	6
独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター		●	●	●	●	●	5
独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	●	●	●	●	●		5
北海道立子ども総合医療・療育センター	●	●	●	●	●	●	6
北海道大学病院		●	●	●	●		4
手稲溪仁会病院		●			●		2
独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	●	●	●	●	●	●	6
市立札幌病院		●		●			2
市立千歳市民病院	●	●	●	●			4
KKR札幌医療センター	●	●	●	●		●	5
国家公務員共済組合連合会 斗南病院	●	●	●	●	●	●	6
札幌医科大学附属病院		●	●	●	●		4
JA北海道厚生連札幌厚生病院		●	●	●	●	●	5

注) 人口100万人以上の構想区域に所在する公立・公的医療機関等は、類似の状況にある医療機関が多数に及ぶことから別に整理が必要なため、今回は「類似かつ近接」に係る再検証は要請せず、今後、必要な検討を行うこととする。ただし、分析結果は公表する。

## 江別市立病院の診療実績の評価

項目		実績の実数	診療実績が特に少ない	類似かつ近接する
【がん】	肺・呼吸器	0	●	
	乳腺	*	●	
	消化器(消化管／肝胆膵)	*	●	
	泌尿器／生殖器	*		●
	放射線療法	0	●	
【心筋梗塞等の心血管疾患】	急性心筋梗塞に対する心臓カテーテル手術	*		●
	外科手術が必要な心疾患	0	●	
【脳卒中】	超急性期脳卒中加算	0	●	
	脳動脈瘤クリッピング術等	0	●	
	開頭血腫除去手術等	0	●	
	血栓除去術等の脳血管内手術	0	●	
【救急医療】	救急搬送等の医療	1,955	●	
	大腿骨骨折等	*		●
【小児医療】	小児入院医療管理料・新生児集中治療室管理料等	151	●	
【周産期医療】	分娩件数	30	●	
	ハイリスク分娩管理加算	*	●	

※実績の実数は、平成29年度病床機能報告に基づくもの

※平成29年6月分の診療実績（救急搬送等の医療は、平成28年7月から平成29年6月の受入件数）

※「1件～9件の診療実績は秘匿とし、"\*"で表示している

※「診療実績が特に少ない」に該当する（●）場合は、「類似かつ近接」の（●）を省略している。（空欄となる。）

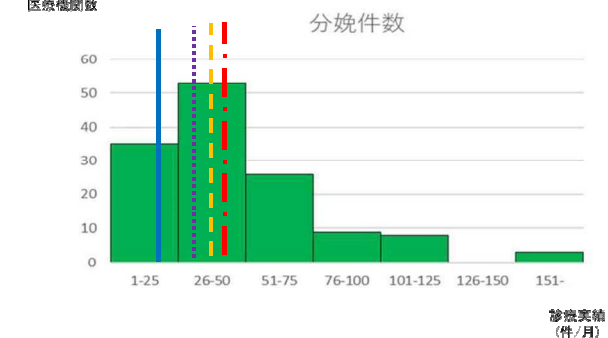
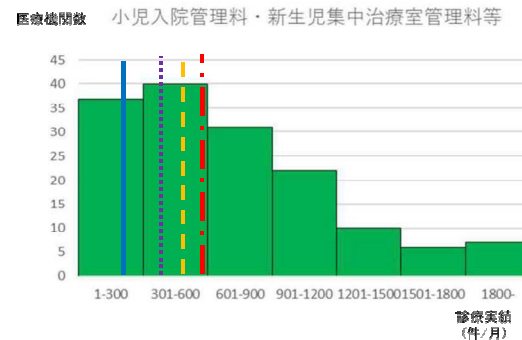
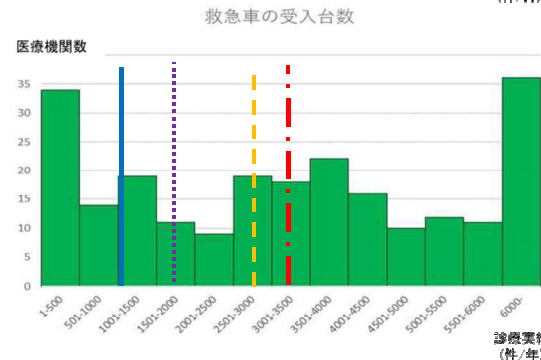
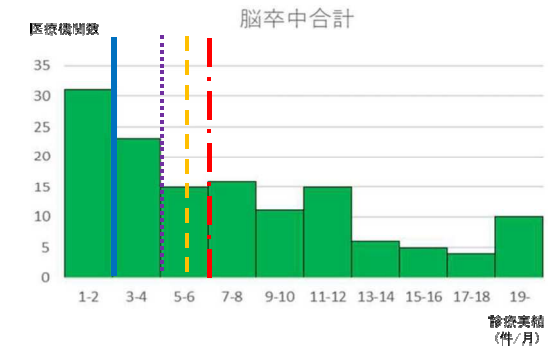
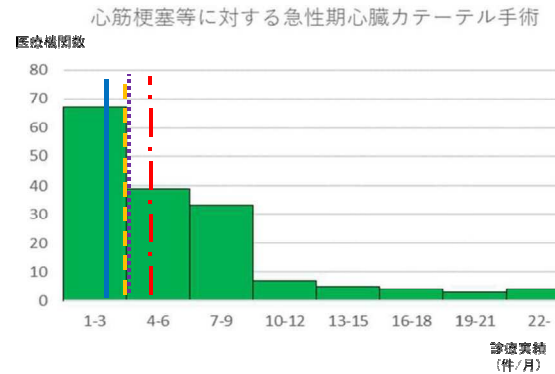
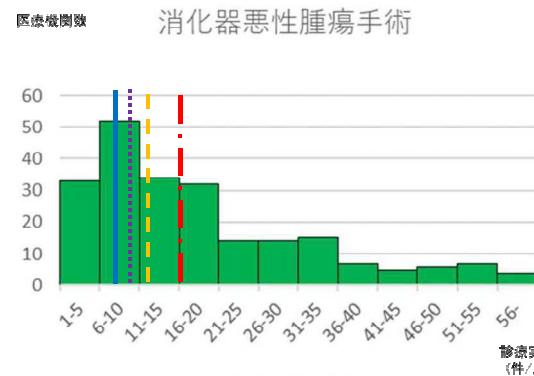
## 人口区分別の診療実績の分布①

○ 各診療項目ごとの医療機関の実績の分布を参考に下記の通り示す  
(人口100万人以上の構想区域における医療機関ごとの実績の分布)

人口100万人以上の構想区域における診療実績に関するヒストグラム

凡例

(青実線) 下位20パーセンタイル  
(紫丸点線) 下位30パーセンタイル  
(橙破線) 下位40パーセンタイル  
(赤長短線) 下位50パーセンタイル



※ 診療実績がある医療機関のみのパーセンタイル値で判断する。

※ 「消化器悪性腫瘍手術」：胃がん、大腸がん、食道がん、肝臓がん、胆嚢・胆道がん、膵臓がんに対する開腹手術・腹腔鏡手術等が含まれる。

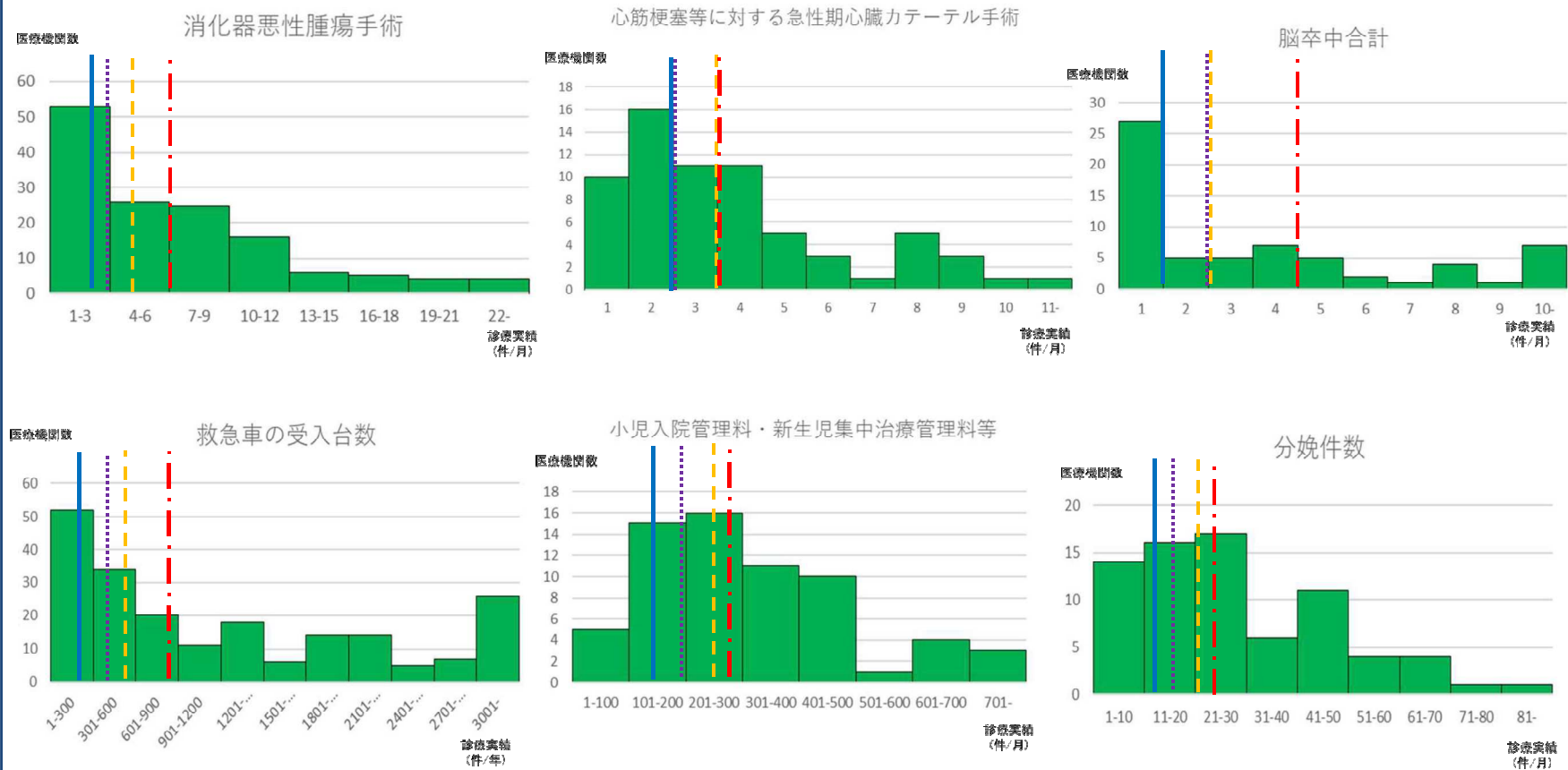
※ 「脳卒中合計」：脳動脈瘤クリッピング術、超急性期脳卒中加算、脳血管内手術、経皮的脳血管形成術、経皮的選択的脳血栓・血栓溶解術・経皮的脳血栓回収術、経皮的脳血管ステント留置術、頭蓋内血腫除去術、減圧開頭術等が含まれる。

※ 各領域(例：小児医療)の項目に対応する病床機能報告の項目(小児入院管理料のうち、一般小児医療に関連するもの等)は、厚生労働省が分析を進める上で、地域医療構想に関するWGの構成員等の有識者と協議をしながら決定するものとする。

※ パーセンタイルは公立・公的医療機関等のうち、診療実績が「1」以上の医療機関で算出した。

## 人口区分別の診療実績の分布④

人口10万人以上20万人未満の構想区域における診療実績に関するヒストグラム





## 具体的対応方針の再検証要請に対する道の考え方(令和元年10月1日付け事務連絡)

- 今回の国の公表データは、一定の条件下で全国一律に分析されたものであり、絶対的な分析結果ではないものと捉えている。
- 道では、今年度、地域医療構想の実現に向け、圏域ごとに「重点課題」を設定し、具体的な取組（急性期機能の集約化、病院の再編・統合など）に向けた集中的な議論を進めていただいているところであり、今後もこの方針を変更することは考えていない。  
※札幌圏域の重点課題は、各地域で顔の見える連携体制を構築することとされている。
- 今回の国公表データも、各圏域の診療状況を示す1つの参考資料としながら、「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等」として公表されたかどうか、また、公立・公的医療機関等であるかどうかに関わらず、引き続き、地域医療構想調整会議において、具体的かつ集中的な議論を進めていただきたい。